

昭和61年度

# 高出力形除雪グレーダ

〈4.0m320PSアングリングブレード〉



建設省北陸地方建設局

## 開発導入の目的

バイパス等で交通量の多い地区では、降雪が即圧雪となるため、当初から除雪グレーダによる路面整正作業を実施しなければならず、ラッシュ時前までの作業条件を考慮すれば、台数増よりは、台数を少なく効率よく作業できる除雪機械が望まれる。現有の除雪グレーダ(230PS)の作業速度は5~10km/h程度で、担当区間の1サイクルの時間も長くなっている。

また、山間地等、登り勾配で作業する場合は出力不足で作業速度が大巾にダウンする。これ等の対応策として高出力化及び機能を向上させ、除雪作業の高速化(能力アップ)を図る目的で開発・導入したものである。

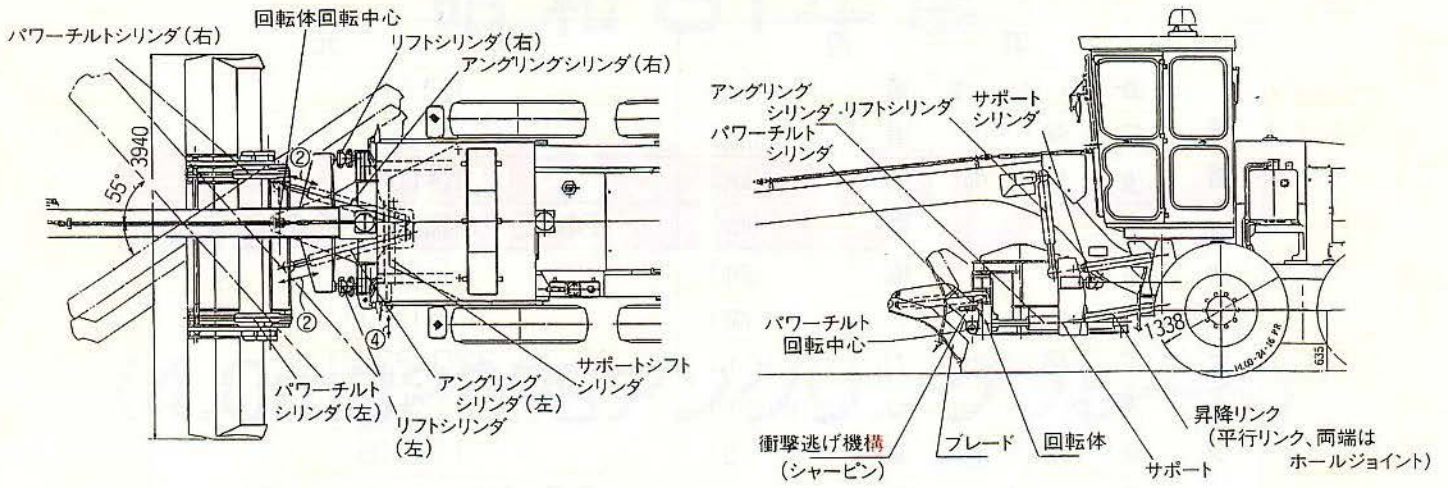
## 機械の特徴

- (1) 320PSの大出力エンジンを搭載し、高速作業が可能になる。
- (2) 作業装置の特徴
  - ① ドローバ、サークルを無くし、アングリング機能とした。
  - ② ブレード高を920mmと大きくし、雪の抱え込み量を増加させた。
  - ③ ブレード横送りが左右各々210mm可能である。
  - ④ パワーチルトにより切削角を45~90°に調整でき、雪質に応じた作業ができる。
- (3) 安全対策として、ブレードの衝撃逃げ機構として2系統を装備。
  - ① 左右アングリングシリンダの低圧側へ油圧を逃がすダブルリリーフバルブを油圧回路に装備し、ブレードを逃すことが可能
  - ② ブレードの反転機構(シャープピン式)を設け、ブレードが後方にはね上り衝撃を回避できる。



ブレード支持機構

# 《ブレード機構図》



# 《作業写真》



# 《仕様概要》

	項 目	諸 元
重量・寸法	車両総重量 (kg)	19500
	前輪荷重 (kg)	6400
	後輪荷重 (kg)	13100
	全長 (mm)	9445 (標識装置付9460)
	全幅 (mm)	2480
	ホイールベース (mm)	6150
エンジン	定格出力 (PS/rpm)	320/2200
	最大トルク (kgm/rpm)	121/1400
	総排気量 (ℓ)	11.045
構造・形式	変速機	F7・R3 ハイドロシフト
	デフ・デフロック	標準装備
	タンデム形式	チェーン駆動
	主ブレーキ	湿式多板式後4輪制動・空気作動式
ブレード	ブレード寸法 (mm)	3963×920×19
	最大ブレードベース (mm)	2790
	最大ブレード荷重 (kg)	11510
	最大ブレード線圧 (kg/m)	2900
	切削角度 (度)	45～90

# 《三面図》

